



Expansion～共生社会を実現する医療連携～  
医療連携の拡大と発展をこめて  
大会長 武藤永治  
(赤門鍼灸柔整専門学校 講師 / 元筑波技術大学保健科学部 講師)

第4回学術大会  
日本伝統医療看護連携学会  
2022年11月27日(日)  
於、仙台赤門短期大学  
ハイブリッド開催

【特別講演】

COVID-19を経験し、今後我々が考えるべき感染症とは？  
東北医科薬科大学薬学部臨床感染症学 教授 藤村 茂 氏



【学術大会プログラム】 演題・参加登録：2022年5月9日(月)～9月30日(金)

特別講演・大会長講演・シンポジウム・ミニセミナー・一般演題



【大会長のご挨拶】

本学会の創設時は、看護医療と伝統医療を連携して学習を行い、各分野において専門性を理解し合い、よりよい医療を提供することが当面の目的でした。しかし、現在社会の要求は更に進み、他職種連携が求められています。高齢者の増加もその背景となり、病院を退院後は地域医療や福祉サービスの提供を求めるなど、医療と福祉、福祉と自治体の連携が求められています。福祉においても従来の福祉サービスに就労支援を加えなければならなくなってきました。これは福祉と就労の連携によって目的を叶えようとする考えです。私たちはこのような社会情勢を認識しながら医療スタッフの連携、関係者との地域連携を視野に入れて活動していくことが重要であると思います。これらを共通に受け止めて努力していくことを願っております。

武藤永治 (赤門鍼灸柔整専門学校講師 / 元筑波技術大学保健科学部講師)



## 【登録期間】

演題・参加登録（オンライン参加）ともに  
2022年6月20日(月)～9月30日(金)



各種登録は、学術大会ホームページ（QRコード）よりお願いいたします。

## 【参加登録費】

参加区分	事前参加登録費	当日参加登録費	昼食費
会員	5,000円	6,000円	1,000円 希望者のみ/事前注文のみ
非会員	6,000円	7,000円	
学生	2,000円	2,000円	

※学術大会の参加費は、学会の年会費とは別となります。  
※学生について  
仙台赤門短期大学・赤門鍼灸柔整専門学校以外の学生参加の方は事務局メールアドレスへ学生証コピーをお送りください。

## 【プログラム】

### 特別講演

COVID-19を経験し、今後我々が考えるべき感染症とは？

東北医科薬科大学薬学部臨床感染症学 教授 藤村茂氏

### 大会長講演

連携の拡大と発展

赤門鍼灸柔整専門学校・元筑波技術大学保健科学部 講師 武藤永治氏

### シンポジウム

全人的医療を可能にする医療スタッフ連携のあり方

シンポジストは、看護師やあん摩マッサージ指圧師・はりきゅう師・柔道整復師等の医療従事者が登壇します。

### ミニセミナー

### 一般演題(口頭・ポスター)

## 【当学会のQ & A】

Q1

「医療連携」って、伝統医療・東洋医学と看護は対等なの？



当然です。それぞれに国家資格や職能が違うのですから、高下はあり得ません。対等です。

Q2

でも、連携したら、職能や患者さんの奪い合いにならないから・・・？



当学会の活動を通じて、医師や看護師が、伝統医療・東洋医学を理解し、鍼灸院や整骨院などの治療院に患者さんを紹介する機運が生まれることを願っています

Q3

医療連携って、そんなことできるのかしら？



直ぐにはできません。伝統医療・東洋医学も一般的に理解されるように論文を投稿するなど更に努力しなくてはなりませんし、西洋医療も伝統医療を理解する努力が必要です。

Q4

なるほど、だから「連携医療をイノベーション」なのね。



まずは、お互いを知る「相互理解」から。徐々に理論的妥当性をもった検討・論議をはじめます。